



9月25日(火)晴れ 22名参加
(担当 自然観察チーム)

～つる植物に満腹！！～

本当に秋晴れの(少し暑かったけど)観察にはもってこいの日でした。

私はつる植物ってそんなに多くの種類があるの？こんな気持ちで参加しました。でも、資料には名前がいっぱい並んでいるではありませんか。それも私の聞いたこともない名前がずらーり・・・これから、頭の中をお勉強モードに切り替えなければなりません。

さっそくルコウソウの真っ赤な花を見つけました。最近あまり見かけなくなりました。それに代わって、道端などでマルバルコウソウが繁茂しています。下見の時より畔の草が刈られているのが多かったです。まさしく雑草なのですね。

途中アオギリの種のおもしろいつき方を見ました。「昔はおやつとして食べていた。」「現在でも煎ってコーヒーのように飲んでいる」と聞きました。

スズメウリの小さなかわいい実がついていました。カラスウリに対して小さいからスズメという名前になったのかと思っていましたが、鈴女瓜という説もあると聞いて、実のかわいさからなるほどなあと思いました。それから、ガガイモの観察です。花には白い毛がいっぱい！そして小さいニガウリのとがったような実があちこちになっています。

私はガガイモの実を初めて見ました。袋の中には実と長い絹糸のような毛がびっしり。熟すと袋が割れて、種をつけた毛がふわふわと飛び出すのだそうです。



昼食後、暑い道を歩き、やっと朝風峠を越え見渡す限りヒガンバナです。人がいっぱいです。今年は例年より開花が遅かったようですが、案山子ロードの畔には真っ赤なヒガンバナが咲いて、田んぼの黄金色とで日本の風景だなあと、うれしくなりました。いいお天気で、たくさんの案山子達に出会い、つる植物もこんなにあるのだと1日頭を活性化させて楽しい時間を過ごしました。

(勝田 緑)

かわいい案山子が
いっぱい案山子ロードに
飾られていました

